

1997年3月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球 500 hPa 高度場を見ると、西ヨーロッパに顕著な正偏差域が現れた。また、ベーリング海付近、アメリカ合衆国にも正偏差域が見られた。一方、ラブラドル半島付近とヨーロッパロシアから中東にかけては負偏差域に覆われた。月を通して西ヨーロッパ付近にブロッキング高気圧が見られた。太平洋赤道域の 850 hPa では、150°~120°W の領域を除いて西風偏差となっており、特に150°E~170°W で顕著だった。対流活動は、オーストラリア北東から中部太平洋にかけての 0°~20°S では平年よりも活発であったが、インド洋東部から海洋大陸付近にかけては平年より不活発であった。200 hPa の発散の中心は日付変更線付近に存在し、平年より約20度東に偏っていた。

世界の天候

① 西シベリアと東アジアの高温

アジアでは中央シベリアなど一部を除き多くの地域で月平均気温が平年より高くなった。中国やインド南部、マレーシアで高温となった。

② 東シベリアの高温

③ マレーシアとフィリピン の少雨

④ ヨーロッパ西部からアフリカ北西部の高温少雨

ヨーロッパはほぼ全域で月平均気温が平年より高く、ヨーロッパ西部は高温少雨となった。イギリスのテムズ川は冬からの少雨のために水位低下が著しいと報じられた。ソマリアやエチオピアでは干ばつが報じられた。

⑤ シリア・ヨルダンの低温

⑥ アメリカ合衆国南部とカリブ海周辺の高温

合衆国では北東部の一部を除き月平均気温が平年より高くなった。カリブ海周辺では前月に続き高温となった。

⑦ アメリカ合衆国東部・南部の多雨

月降水量は西部と中西部で少なく、東部と南部で多くなった。上旬から中旬にかけて東部を中心に洪水による被害が報じられた。

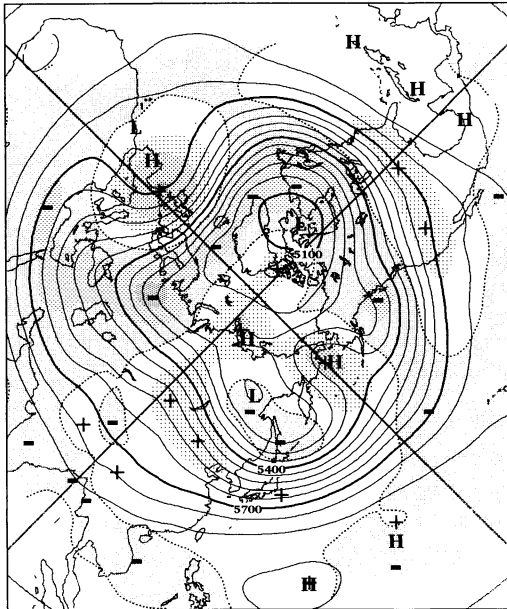
⑧ アメリカ合衆国西部・中西部の少雨

⑨ オーストラリア北東部の低温・多雨

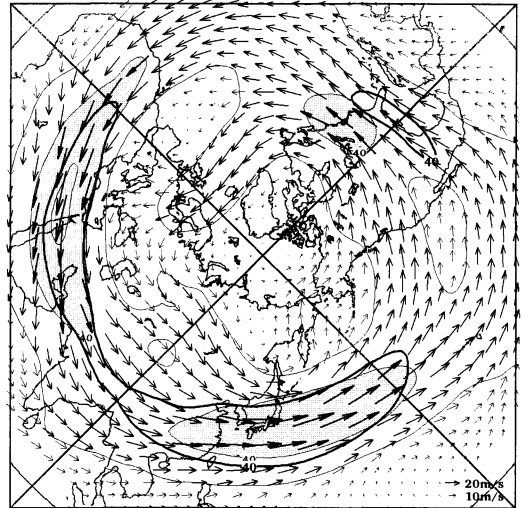
オーストラリアとニュージーランドはほぼ全域で低温となった。月降水量はオーストラリアの北東部とニュージーランドで多かった。フィジーなどでは上旬、サイクロンによる被害が報じられた。

(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 徳広貴之)

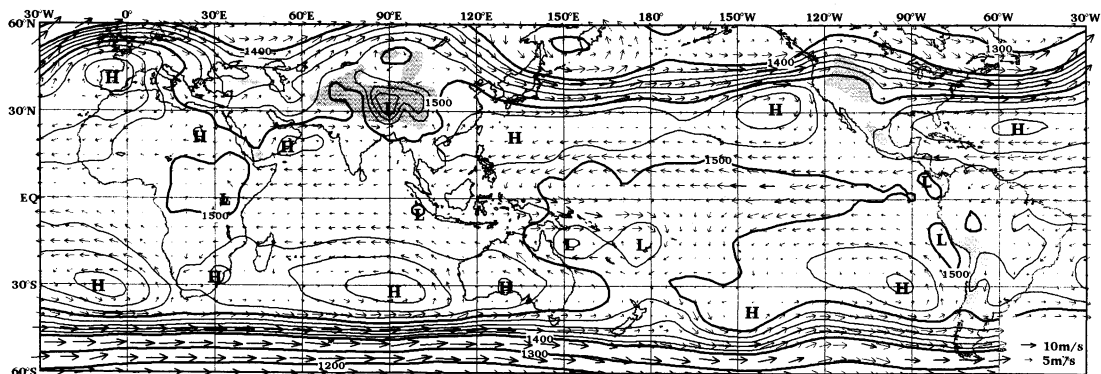
anomalies (m)
-360 -300 -240 -180 -120 -60 0 +60 +120 +180 +240 +300 +360



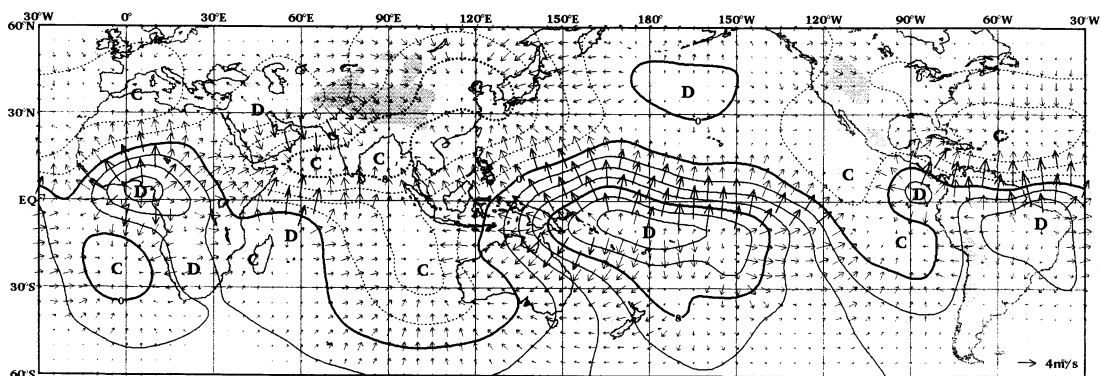
1997年3月の北半球月平均 500 hPa 高度および年偏差等値線間隔、偏差パターン間隔は 60 m。平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。



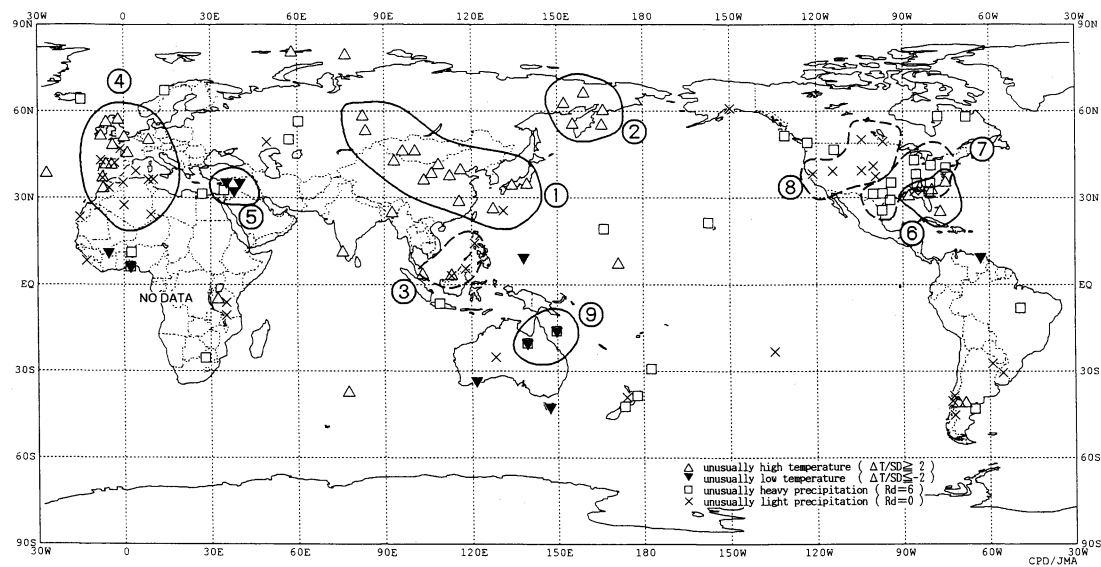
1997年3月の北半球月平均 200 hPa 風速および風ベクトル等値線間隔は 20 m/s。陰影部は平年で 40 m/s 以上。平年値は1979~1996年のデータに基づくもの。



1997年3月の月平均850 hPa 高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 m までは100 m)



1997年3月の月平均200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



1997年3月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6及び0. 図中の
 番号は本文中の番号と対応している.